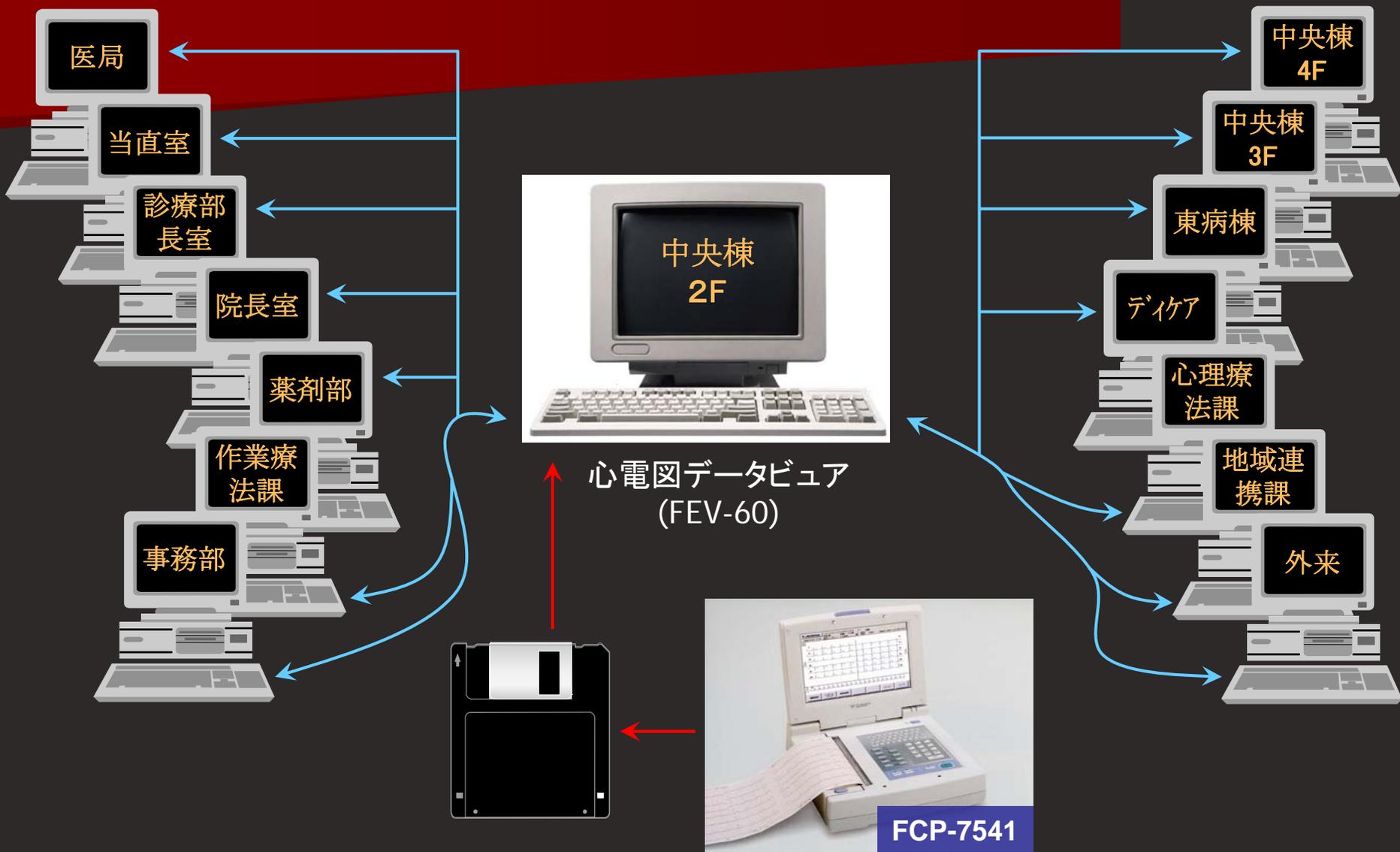


ラン回線による心電図のオンラインシステム



ラン回線による心電図のオンラインシステム

心電図のデジタル信号は、自動診断機能内蔵のFCP-7541による12誘導波形の記録描出に併せて、フロッピーディスクに転写される。フロッピーディスクを媒体とする情報は、中央棟2階のパソコンにインストールされた“心電図データビューア”を通じて、院内設置の全てのパソコンに共有される。

今回、当院に導入されたラン回線による心電図波形のオンラインシステムには、日常診療面で次のような実用的利便性が期待されます。

- ①**急変時に対する即応性**: 記録から判読までの情報伝達が飛躍的に短縮するため、病的な不整脈や、心筋虚血病変などの早期発見・早期治療に有用。
- ②**実務レベルでの心電図学習**: 心電図情報が院内全てのパソコンで共有されるため、従来のような時間や場所に捕らわれることなく、心電図変化を随時検討しうる。
- ③**心電図の経時的变化**: 心電図のデジタル信号は、ハードディスクに保管管理されるため、時系列変化を評価する際の即時的情報源になりうる。